

令和5年度 道路事業の取組みについて

令和6年3月31日

沿岸部の復興支援や観光振興・交流促進等に向け、「みやぎ県北高速幹線道路」をはじめ広域幹線道路や県際道路等の整備、災害時の救援・物資輸送等を担う道路等における防災機能の強化等とともに、生活道路の拡幅改良や歩道整備等、安全な通行の確保を図りました。また、舗装補修等により、道路機能の維持・向上に努めました。

1 みやぎ県北高速幹線道路「(仮称)栗原IC」による東北自動車道との接続 ＜築館菰沢地区＞

みやぎ県北高速幹線道路は、内陸の東北自動車道と沿岸部の三陸自動車道をつなぎ、産業や観光振興及び地域間交流の促進、広域救急医療活動のほか、災害時における迅速な救援支援などを目的に整備を進め、令和3年12月に約24km全線の供用を開始した。現在、東北自動車道に直接乗り入れを可能とする(仮称)栗原インターチェンジ整備を平成31年度から事業を推進している。

令和5年度については、事業地に点在する文化財発掘調査の実施や県が施工する側道工事等の完成とともに、令和3年3月に協定締結を行ったNEXCO東日本が施工するインターチェンジ本体工事の本格的な施工に着手したところである。

なお、側道工事においては、一部箇所掘削や法面対策のほか、舗装工事を令和5年度に着手し、令和6年度の完成を予定している。



2 (一)若柳築館線 川南道路改良事業について

＜若柳川南地区＞

栗原市若柳と築館を結ぶ県道若柳築館線の若柳川南地区については、道路幅員の狭小に加え、歩道が未整備となっていたことから、平成27年度に道路改良事業に着手し、整備を進めてきたところ令和5年9月に事業区間L=1.32kmが完成しました。

当該事業の完成により、車両の円滑な通行や歩行者の安全確保を図られとともに、みやぎ県北高速幹線道路「若柳南インターチェンジ」へのアクセス性や利便性が向上し、更なる地域間連携の強化が期待される所です。



3 (国)398号 湯浜1号スノーシェッドの延伸工事について

＜花山温湯地区＞

当地区は県内有数の豪雪地帯であるため冬期閉鎖を余儀なくされる区間がある中、当路線は宮城・秋田両県の観光や交流促進を担う重要路線であることから、春先の冬期閉鎖の早期解除に向けたスノーシェッドの延伸を推進している。

令和5年度は、湯浜1号スノーシェッド下部工(山側・入口:宮城県側)L=10mが完成したほか、更なる事業効果の発現に向け、下部工工事L=12mに着手したところである。



この地図は、測量法第29条に基づき国土地理院長の承認(平成27年度業務、第25号)を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものを一部転載したものである。



※お気づきの点や、ご意見などがありましたらご連絡願います。

宮城県北部土木事務所栗原地域事務所 道路管理班・道路建設班

〒987-2251 栗原市築館藤木5-1 宮城県栗原合同庁舎

TEL 道路管理班 0228-22-2179(直通)

道路建設班 0228-22-2189(直通)

FAX 0228-22-9049

URL <http://www.pref.miyagi.jp/nh-khdbk/>

E-mail nh-khdbk@pref.miyagi.lg.jp

